

事 務 連 絡

令和2年1月17日

各都道府県・指定都市教育委員会指導事務主管課  
各 都 道 府 県 私 立 学 校 主 管 課  
各 国 公 私 立 高 等 専 門 学 校 担 当 課 御中  
附属学校を置く各国公立大学法人担当課  
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた  
各 地 方 公 共 団 体 の 学 校 設 置 会 社 担 当 課

文部科学省総合教育政策局教育改革・国際課

「アジア高校生架け橋プロジェクト」について（御協力のお願い）

日頃より、高校生の国際交流に関し御尽力賜りまして、厚く御礼申し上げます。

先般来御案内しておりますとおり、文部科学省補助事業「アジア高校生架け橋プロジェクト」は、来年度に3年目を迎えます。

本事業は、2017(平成29)年6月5日に開催された国際交流会議「アジアの未来」の安倍総理大臣スピーチにおいて、「日本語を学ぶアジアの高校生たちに、10 か月、日本で暮らせる機会を提供します。規模は今後5年で1,000 人。」との発言がなされたことを踏まえ、アジア諸国で日本語を学ぶ優秀な高校生を日本全国の高校に招聘し、日本人高校生との国際交流を深めることを目的としており、公益財団法人 AFS 日本協会が事業の受託者として実施しております。

そして、3年目にあたる令和2(2020)年度においては約200名を10 か月間受け入れる予定でございます。

【受入予定時期： 令和2(2020)年4月上旬～令和3(2021)年2月上旬】

現在、令和2(2020)年度事業実施に向け、当協会から教育委員会や高等学校に対して、生徒の受入れ等に関する相談や依頼を行っているところでございます。本プロジェクトは、我が国の高校生にとって、国内にいながらにして国際交流を深めることができる貴重な機会となることから、当協会より高校生の受入れの協力の要請等があれば、引き続き積極的に御協力いただくとともに、スーパーグローバルハイスクール(SGH)事業をはじめ、グローバル人材育成関連の取組と連携する等、これまで以上に効果的な取組を進めていただきますよう併せてよろしくお願いいたします。

本プロジェクトへの御質問、御要望がございましたら、下記まで御連絡いただけるようお願いいたします。

公益財団法人 A F S 日本協会

担 当： 榎原（マキハラ）、五嶋（ゴシマ）

E - m a i l： kakehashi@afs.or.jp

電 話： 03-6206-1919

<https://www.afs.or.jp/about-afs/programs-jutaku/asia-kakehashi-project/>

なお、貴管下の市町村教育委員会、高等学校、中等教育学校（後期課程）、特別支援学校（高等部）に対し、本件を周知いただきますよう、何卒よろしくお願いいたします。

（参考資料）令和2（2020）年度予算（案）「アジア高校生架け橋プロジェクト」

本事務連絡に関するお問い合わせ先

文部科学省総合教育政策局  
教育改革・国際課国際理解教育係

飯名

電話：03-6734-3487

# アジア高校生架け橋プロジェクト

令和2年度予算額（案） 471百万円  
(前年度予算額 417百万円)



## アジア諸国で日本語を学ぶ優秀な高校生を日本全国の高校に招聘。

日本の高校生と共に学び合い、国際交流を深める。＜今後5年間で1000人規模の交流を実現＞

■ 第23回国際交流会議「アジアの未来」総理大臣スピーチ (2017.6.5) ＜抜粋＞

「日本語を学ぶアジアの高校生たちに、10か月、日本で暮らせる機会を提供します。  
規模は今後5年で1000人。」



### ＜ポイント＞

- ☑ アジアの高校生を日本全国の高校に招聘
- ☑ **2020年度は200名を10か月招聘**  
(2018年度：100名×6か月、2019年度：200名×8か月招聘)
- ☑ 日本各地でホームステイや寮生活をしながら日本の高校で勉強
- ☑ 休日には文化体験、地域交流、国内企業でのインターンシップ等

### アジア諸国



### 期待される効果

○多くの日本の高校生が、海外に行かずして国際交流を経験

→ 1クラス40人 × 1000人  
= 40,000人が国際交流！

○海外の若者が日本の生きた「教育」、「文化」等を体験

○日本の高校生の留学意欲や国際的素養の向上

○日本とアジアの高校ネットワークの構築

○互いの国に精通したリーダー、架け橋となる人材の育成